

第1部 木育とは何か？

様々な角度から木育の本質に迫ります。

13:30

講演Ⅰ 「子どもと木材との確かな出会いを創造すること」
—子育て環境における木の役割・育ちの効果—

講師：埼玉大学教育学部教授 浅田 茂裕氏

1966年熊本県生まれ。鹿児島大学教育学部、九州大学農学研究科博士課程修了後、1995年に埼玉大学に着任。現在教育学部教授。「木構造における釘接合部の衝撃応答に関する基礎研究」により博士（農学）を授与される。専門は木材工学、林産教育、技術教育。現在は、小中学生に対する木を使ったものづくり教育の効果など、木材利用に関する教育の方法について研究を進める他、幼稚園から小学校、中学校における木育プログラムの開発と実践を進めている。木育推進体制整備総合委員会

14:15

講演Ⅱ 「木育とは、心の森づくり」—木とふれあい、木に学び、木と生きる—
子どもの頃から木を身近に使っていくことを通して、人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むこと

講師：KEM工房主宰 木育ファミリー代表 煙山 泰子氏

1955年札幌生まれ。北海道教育大学特設美術科（木材工芸）卒業後、1979年にKEM工房を開設。木工デザイナーとして「子ども達とかつて子どもだった人への贈りもの」をテーマに、木と子供にこだわって活動。遊具や生活用品は北海道生まれのKEM製品として長く親しまれている。図書館、幼稚園などの子供スペースデザインのほか、最近は木育体感プログラムの開発や木育の普及に積極的に取り組んでいる。現在：木育ファミリー代表、北海道森林づくり審議会委員、木育推進体制整備総合委員会

15:00

休憩10分

第2部

もくいく
保育園での『木育』実践事例紹介

埼玉県戸田市

社会福祉法人あけぼの会 あけぼの保育園より

15:10

「あけぼの保育園木育プロジェクト2009」事例紹介

- 園庭にあるシンボルツリーである桜の樹と園児を向かい合わせる事から、日々の何気ない園生活を通して、樹木の葉っぱやその姿や、樹木の周りに息づくたくさんの命の繋がりに気付かせていくことから始まった木育の取り組み。
- 北海道より四季の自然と共に園に届く「ぼのぼの森のたから箱」が、更に、桜の樹と園児とのストーリーを深めていく。森からのたから箱には、森からのメッセンジャーである小人、乳幼児にも木の温もりが伝わる「木のたまご」、マツボックリ等の季節を伝える自然物も入り、園児の宝ものとなる。

更には、園庭にヒノキの丸太を持ち込んでの独楽作り大会や、カナ削り体験を通して、樹を五感で感じられるプロジェクトが始まっている。

保育課程に木育を取り入れるための、園児の気付きやゆきを記録した木育チェックシートの活用事例等も含めて、ご紹介致します。



16:15

質疑応答

16:45

散会

※当日は、会場にて「木育教材」の展示もございます。